

# フジクローム TREBI 100C

FUJICHROME TREBI 100C

## 1. 特長及び用途

フジクローム TREBI 100Cは、ISO 100の写真感度を持つデーライトタイプのカラーリバーサルフィルムです。このフィルムは、ヌケの良いクリアな発色、鮮やかで忠実な色再現性、ハイライトからディープシャドウまでの豊かな描写力を持ちあわせていますので、風景・ポートレート・スナップなど汎用タイプとして幅広く使用することができます。また、非常に高いシャープネスと粒状性を持っていますので、スライド鑑賞のみならず、大伸しプリントにも適しています。

### 特長

- ヌケの良いクリアな発色      スライド鑑賞、プリント作成に最適な発色
- 鮮やかで忠実な色再現と豊かな階調再現      幅広い被写体の撮影が可能
- 高解像力及び超微粒子      大伸しプリント、拡大映写に威力を発揮
- 優れた長時間露光適性      長時間露光でのカラーバランスのずれや感度の低下が小さいため、夕景や夜景などの撮影でも仕上りが良好
- CR-56/E-6処理適性      他のフジクロームフィルムと同様に、世界中どこでも現像処理可能

## 2. 写真感度

光源	写真感度	フィルター
デーライト	ISO 100	不要
タングステン (3200K)	ISO 32*	LBB-12** (No.80A***)

\* 指定フィルターを使用した時の実効感度を示しています。

\*\* 富士色温度変換フィルター

\*\*\* ラッテンフィルター

## 3. サイズ、製造番号、DXコード、ベース材質及び厚さ

サイズ		製造番号 (乳剤番号)
ロール	135 … 24枚撮り	# 071 ~
	36枚撮り	
	36枚撮り (3本パック)	

DXコード …… 34-9

ベース材質 …… セルローストリアセテート

ベース厚さ …… 127µm

## 4. 露光ガイド及び各光源での撮影方法

露光の決定には露出計の使用をお勧めします。露出計を使用しない場合は次表を参考にしてください。

	快晴時の海岸・山・雪景色	快晴	晴	明るい曇	曇・日陰
絞り	f/16	f/11	f/8	f/5.6	f/4

(シャッター速度 1/250秒)

- 注
- ・上の表は日の出2時間後から日没2時間前までに適用されます。
  - ・上の表に対し夏季は1/2絞り絞りこみ、冬季は1/2絞り開けます。
  - ・極端に明るい(または暗い)被写体、または逆光の撮影では上の表に対し約1絞りの調整を必要とする場合があります。

### デーライト (昼光)

このフィルムはデーライトタイプとして設計されているため、昼光下での一般的な被写体の撮影にはフィルターは特に必要ありません。次のような状況下での撮影には以下に示すフィルターの使用をお勧めします。

被写体の状況	フィルター	露光量補正
晴天時の日陰、日陰の多い風景	UVフィルター 富士 SC-39 または SC-40 (ラッテンNo.2C)	不要
快晴の遠景、雪景色、海浜、航空写真など、広範囲な風景		
植物の近接撮影および明るい色の被写体 (陶磁器など)		

色温度が高・低いずれかにかたよっている場合は、下表を参考にして補正してください。

被写体の状況	フィルター	露光量補正 (絞り)
色温度が高い場合： 曇り日の風景・人物 快晴の日陰	LBA-2* (ラッテンNo.81A)	+ 1/3
色温度が低い場合： 朝、夕の太陽に照らされた風景・人物	LBB-2*または LBB-4* (ラッテンNo.82A またはNo.82C)	+ 1/3 ~+ 2/3

\* 富士色温度変換フィルター

\*\* +は「絞りを開ける」

### ストロボ

- ストロボは昼光にちかいため、フィルターは不要です。しかし、ストロボの種類や使用量などの要因によってはカラーバランスに影響する可能性がありますので、テスト撮影を行ってください。
- フラッシュメーターの使用をお勧めしますが、下記の式により、適切な絞りを算出できます。

$$\text{絞り} = \frac{\text{ISO 100 のときのストロボのガイドナンバー}}{\text{ストロボから被写体までの距離 (m)}}$$

- オートストロボを使用する場合は、フィルム写真感度を ISO 100 にセットして使用してください。ストロボ撮影の場合は、被写体の周囲の反射などによって露光量が変化することがあるため、使用するストロボの使用説明書に従ってください。

### 昼光色写真電球・フォトリフレクターランプ

- 昼光色写真電球やフォトリフレクターランプの光量は、露出計で得られた条件よりも低めのため、露光時間を延ばしたり、絞りを開けて補正することをお勧めします。できる限り、テスト撮影を行ってください。
- ランプの種類、使用時間、点灯電圧によって光量やカラーバランスが変化するため、それらを考慮して露光時間を決定してください。

### 蛍光灯

- 蛍光灯を主光源とする場合、下表を参考にカラーバランス、露光量を補正して撮影してください。
- 蛍光灯はメーカーや総点灯時間によって、光量、カラーバランスが異なるため、厳密な仕上がりを望むときは、あらかじめテスト撮影により確認してください。

蛍光灯の種類	白色型 (W)	昼光色型 (D)	三波長型 昼光色(EX-D)	三波長型 昼白色(EX-N)	電球色 (EX-L)
色補正フィルター*	35M+5B	30R+10M	30R	20M	50B
露光量補正(絞り)**	+1	+1	+2/3	+1/2	+1 1/3

(シャッター速度 1/4 秒)

\* 富士撮影用色補正フィルターCCシリーズ(ラッテンCCフィルター)

\*\* 露光量の補正には色補正フィルターの露光倍数が含まれています。フィルターなしの状態での露出計指示値に対して、この表の補正をしてください。+は「絞りを開ける」

**注** 露光時間は 1/30 秒より長い低速で使用してください。露光時間が 128 秒以上の場合には相反則不軌の補正も加えてください。

### タングステン電球

- 3200K タングステン電球を使用する場合、富士フィルターLBB-12 (ラッテンフィルター No.80A) で、1 2/3 絞り開けて撮影してください。
- 室内照明などの家庭用タングステンランプを主光源とする場合は上記フィルターの他に、さらに富士フィルターLBB-2 (ラッテンフィルター No.82A) が必要になります。この場合は2絞り開けて撮影してください。

### ミックス光

ミックス光の場合は、主体になっている光源にあわせたフィルター補正をしてください。なお、TTL 測光のカメラの場合は、各光源を補正するために使用するフィルターの露光量補正は不要です。

## 5. 長時間露光時の露光補正

露光時間 1/4000～128 秒の範囲では補正の必要はありませんが、128 秒以上の長時間露光では相反則不軌の影響が表れてきます。その場合、次表のように色補正フィルターによるカラーバランス補正と絞りによる露光量補正が必要です。

露光時間	1/4000～128 秒	4 分	8 分
色補正フィルター	不要	2.5G	お勧めできません
露光量補正(絞り)*		+ 1/3	

## 6. 撮影上の注意事項

ストロボ、フォトリフレクターランプ、蛍光灯、タングステン電球、水銀灯などの人工光源はメーカー、総点灯時間、点灯電圧によって、光量、色温度が変化する場合があります。また、リフレクターやディフューザーも光強度、色温度に影響する場合があります。

## 7. フィルムの取り扱い

- フィルムの外箱に記載の有効期限内に撮影・現像処理を必ず完了してください。
- フィルムのカメラへの装填・取り出しは直射日光を避けて、すばやく行ってください。
- フィルムをカメラに装填したら、できるだけ短時間に撮影を完了し、速やかに現像処理をしてください。

- 空港の手荷物検査、及び預け入れ荷物検査時に使用されるX線はフィルムをカプらせる場合があります。露光済/未露光にかかわらず、フィルムは預け入れ荷物の中に入れずに、機内持ち込み手荷物に入れ、検査時は取り出して手検査を受けてください。
- 病院、工場、研究室などの放射線を取り扱う場所では、フィルムがカプるおそれがあります。フィルムは放射線源から離して保存してください。

## 8. フィルムの保存

### 現像処理前

未露光、露光済を問わず現像処理前のフィルムは温度・湿度が高いほど写真感度、カラーバランス、物理的特性などに悪影響を受けます。フィルムは次のような条件で保存してください。

- 通常又は短期保存：温度 15℃以下（冷蔵庫）
- 長期保存：温度 0℃以下（冷凍庫）

- 新建材や新しい家具、ペンキ、接着剤などからフィルムに悪影響を及ぼすガスが発生することがあります。フィルム、フィルムを入れた遮光ボックス、フィルムを装填したカメラやフィルムホルダーはこのような物の近くに保存しないでください。
- 低温下で保存されたフィルムを使用するときは室温に戻して（冷蔵は3時間以上、冷凍は6時間以上待つ）から開封してください。温度が低いうちに開封すると、結露して使えなくなることがあります。

### 現像処理後

光及び高温、高湿は処理後のフィルムを変退色させる原因になります。従って、現像処理済のフィルムはマウントしたり、スリーブに入れて、通気性の良い乾燥した冷暗所に、次のような条件で保存してください。

- 短期の保存：温度 25℃以下、相対湿度 30～60%
- 長期の保存：温度 10℃以下、相対湿度 30～50%

**注** このカラーフィルムの色素は他の色素と同様に年月の経過により変化します。

## 9. 現像処理

フジ CR-56 処理で現像処理してください。Kodak E-6 処理でも処理できます。

## 10. 観察光源

標準のスライドビューアを使用してください。光源の光質や明るさにより見え方が異なるのでISO\*規格に合った光源を使用してください。

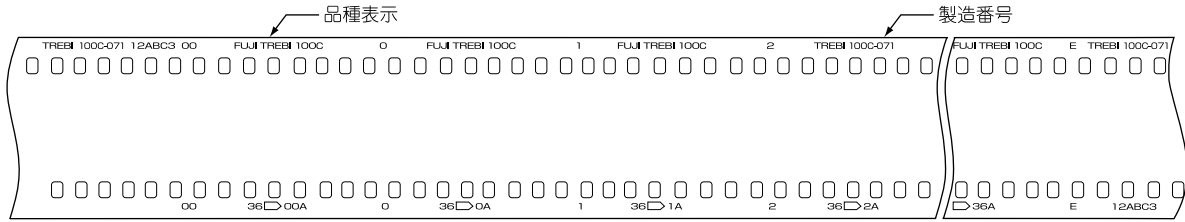
\* ISO規格 (ISO/DP3664-2) では、ビューア表面で基準光の色度CIE イルミナント D<sub>50</sub> (D: Daylight) 相関色温度5000K、平均輝度 1400cd/m<sup>2</sup> ± 300cd/m<sup>2</sup>、輝度の均一性75%以上、光の拡散性90%以上、平均演色評価数Ra90以上と定められています。スライドビューアはこれらの値を満たしていません。

## 11. プリント / デュープ

このフィルムから、フジクロームペーパーにダイレクトにプリントができます。また、フジカラーインターネガティブフィルムにプリントすることにより、各種ディスプレイや業務用など、幅広い用途に利用できます。更に、フジクロームデュープリケーティングフィルムCDU IIで高画質のデュープが作成できます。

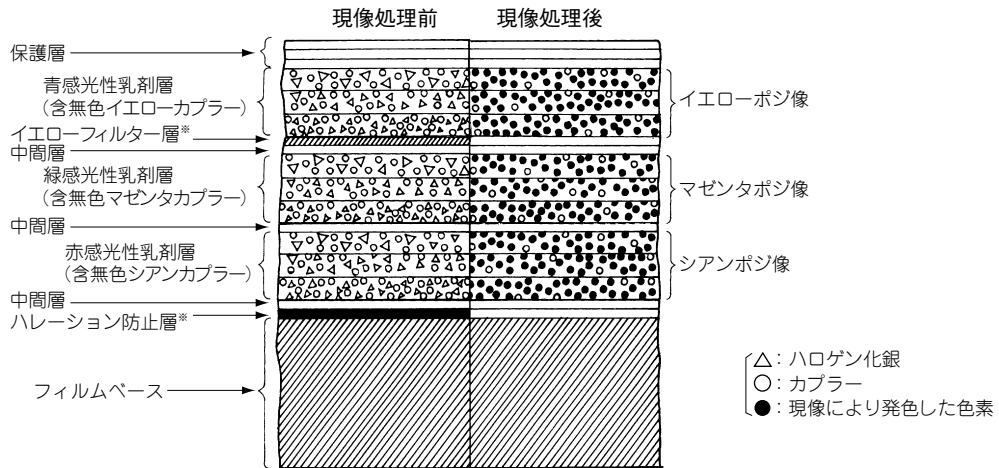
## 12. 現像処理後のサイドプリント

● 135 サイズ



※感光面は裏側になります。

## 13. 層構成



※現像処理後、無色透明となります。

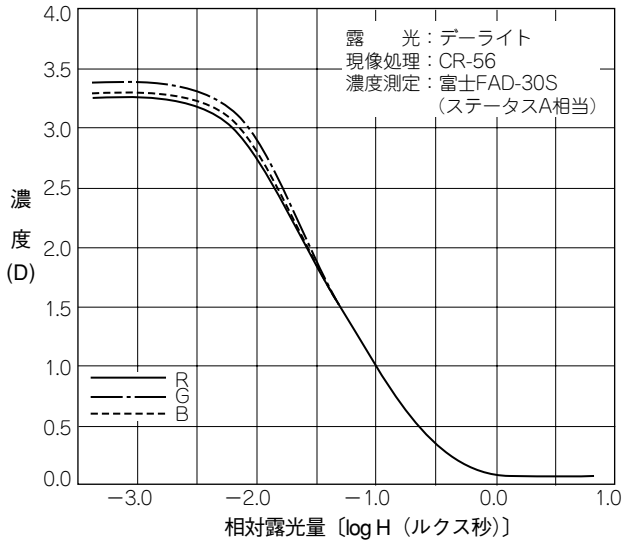
## 14. 拡散 RMS 粒状度 ..... 8

ミクロ濃度計の測定アパーチャー：48 μmφ  
試料の濃度：最小濃度 + 1.0

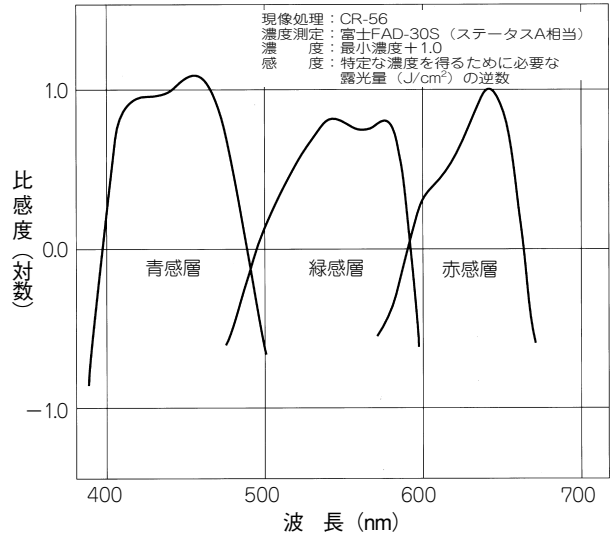
## 15. 解像力

チャートのコントラスト 1.6 : 1 ..... 60 本/mm  
チャートのコントラスト 1000 : 1 ..... 140 本/mm

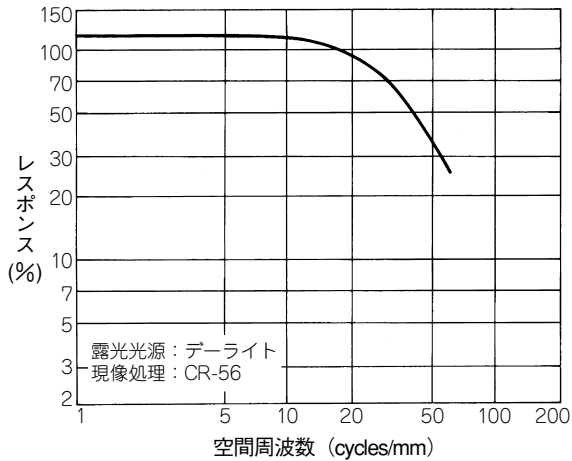
16. 特性曲線



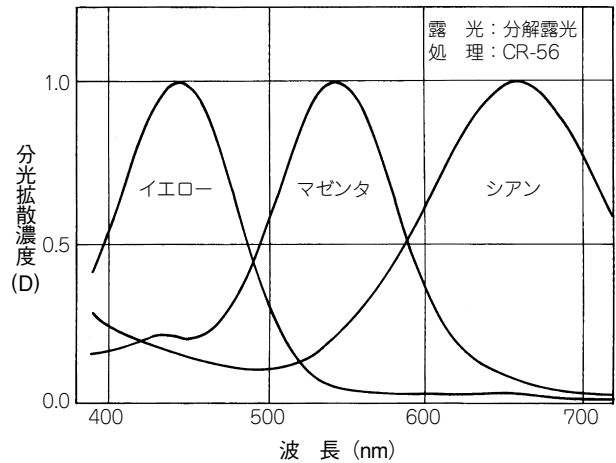
17. 分光感度曲線



18. MTF 曲線



19. 色素の分光濃度曲線



**注** このデータシートに記載されているデータ類は、当社で通常実施している試験による結果を表示するものです。当社は製品の性能を常にグレードアップしようとしていますので、製品の改良によって、これらの特性は予告なく変更されることがあります。



富士写真フイルム株式会社

プロフェッショナル写真部

東京本社 / 〒106-8620	東京都港区西麻布 2-26-30	TEL 東京 (03)3406-2094
大阪支社 / 〒541-0051	大阪市中央区備後町 3-5-11	TEL 大阪 (06)6205-6470
札幌営業所 / 〒060-0002	札幌市中央区北 2 条西 4-2	札幌三井ビル別館 3F TEL 札幌 (011)241-7164
仙台営業所 / 〒980-0811	仙台市青葉区一番町 4-6-1	仙台第一生命タワービル 7F TEL 仙台 (022)265-2121
名古屋営業所 / 〒460-0008	名古屋市中区栄 2-10-19	名古屋商工会議所ビル 11F TEL 名古屋 (052)203-5261
広島営業所 / 〒732-0816	広島市南区比治山本町 16-35	広島産業文化センター 11F TEL 広島 (082)256-3311
福岡営業所 / 〒812-0018	福岡市博多区住吉 3-1-1	TEL 福岡 (092)281-0231